

## プロローグ

数ある書籍の中から、私の本を手にとっていただきありがとうございます。

私はこの書籍を書くにあたり、前書きを書くときは自宅ではなく、違う場所で書く決めていました。お気に入りのカフェ、旅先や、お気に入りのホテルで夜景を見ながらなど……。

後にお話ししますが、今は、昔お世話になったシエルターの横にある公園で書いています。この公園で仕事の帰りが遅くなったときも、子どもを遊ばせたり、一人で泣いたりもしました。

この場所があったから、私は成長することができたのかもしれませんが。

子どもたちには将来の夢を経済的な理由で諦めさせたくはない。

悔いの残る人生は送らせたくない。

当時は収入が少なく、離婚しても当時の主人が残した借金を返済する日々。子どもたちにも贅沢なことを何ひとつさせてあげられませんでした。

クリスマスケーキすら買うお金もなくて、自分でクリームとお菓子を組み立てて手作りケーキを作ったこともあります。

それでも、私は幸せでした。

いつしか、子どもには仕事で疲れた姿の母親ではなく、楽しく仕事をしたり、イキイキした大人の姿を見せたいと思うようになりました。

『ゆかだからできたんだよ』

など、言われる方もおられますが、私だからできたのではなく、私なんかでもできるんです。

私は、マイナス思考ですし、人前で話すことなんて大の苦手で、人見知り。

新しいことをするにもメンタルブロックのかかる性格です。

ずっとただの主婦だったうえに人付き合いも苦手だったので人脈もありませんでした。

しかし、株式投資で成功されている男性との出会いがきっかけで私は、大きく変わることができました。

もちろん、彼のおかげだけではありません。私自身も当時人生で一番努力しました。

これからは、資産運用はもちろん必須課題となっていくます。この本を読んでいた方々には資産運用だけではなく、『人は誰でも、いつでも変われる』ということも同時にお伝えしたいと考えています。

この本を手にとっていたいただいた方々のお役にたてますように。  
願いを込めて。

向日葵  
ゆか